

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 10 日

評価対象事業		評価者	市民健康課長	石黒 知美	
健康福-46	重点事業	ICT活用健康づくり事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	市民健康課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	健康アプリ等を活用し、市民等の健康の維持増進を図るため。
効果	市民等の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりに関するアプリや専用サイトの作成及びポイント制度の構築を図り、市民の健康づくりを推進した。 市内の企業等と、健康づくりを推進するため連携を図った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)		16,095		当初予算(千円)	8,630		
	国県支出金		12,215		国県支出金	6,183		
	地方債		0		地方債	0		
	その他		0		その他	0		
	一般財源	0	3,880		一般財源	2,447		
	人員配置数		0.4		人員配置数	0.4		
事業経費運営	人件費(千円)	0	3,093		人件費(千円)	3,138		
	総事業費(千円)	0	19,188		総事業費(千円)	11,768		
	市民1人当りの経費(円)		109		市民1人当りの経費(円)	67		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	新たな参加者増及び参加者のモチベーション向上のために、インセンティブ原資等にかかる費用等を保持する必要があるため。(2年目にあたる平成30年度からは、システム開発にかかる費用が計上されないため、委託料は半減している。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	参加者も順調に増えており、市民の中で健康づくりに関する意識は高まっている。運動を習慣化させるためには、継続して事業を実施していく必要があり、今後は市民健康課事業だけでなく、スポーツ課の事業との連携や、健康経営の観点から、市内企業で働く方も利用できるような等、市全体の健康づくりの活性化に結びつける。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	市民への周知を図り、参加者数の増加に結びつける。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	本市のふるさと寄附金制度を参考に、市内事業者の協力を得て、魅力的な景品をラインナップすることができたことが、市民の関心を得ることにつながった。また、広報やHPを活用して周知を図るだけでなく、周知イベントを行う等して参加者増につなげることができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	さらに参加者数を増やすための方策、アクティブユーザー率の向上につなげるための方策を検討する必要がある。また、市内の健康経営を推進することを目的に、市内企業(市内在勤の方)にも利用していただくために、積極的に働きかけを行い、スムーズに登録手続きができるような仕組みの構築を検討する。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	ウォーキング等ポイント事業参加者数/人口								
団体名	鎌倉市	横浜市	岡山市	高石市	名古屋市				
他市実績	目標5.0%	-	-	-	-				
	0.8%	8.0%	0.7%	5.3%	0.3%				
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	各市の状況(事業開始年度及び条件(参加料の有無等))が異なるため、単純に比較することは難しいが、本事業の成功には参加者数及び参加率が重要なファクターとなるため、今後も参加者数の拡大を図る必要がある。今後、事業所の参加を可能とすることで、市全体の健康づくりを活性化するとともに、アクティブユーザー(申し込みだけでなく、実際に利用している方)の率を増やすための方策を検討する必要がある。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	事業者の参加者数					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
多くの市民に運動習慣を身に付けていただくためには、参加者数を増やすことが必要であるため。	目標値	-	-	-	3,000	6,000	9,000			
	実績値	-	-	-	1,378					
	達成率	-	-	-	45.9%					
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	初年度は3月中旬リリースということもあり、目標値に達しなかったが、約2週間の運用期間ということを考慮するとスタートアップとしては概ね成功といえる。このまま右肩上がり数字を伸ばしていくために、他課との連携や事業所参加の開放等を推進していきたい。									